

【行動方針1 良好な生活環境の創出】

①公害防止対策を推進する (P48)

水環境の保全

●河川水質、工場排水、ダイオキシン調査を実施。工場排水において基準値超過の企業3社に対し、改善を指導した。悪臭などの苦情に対しては早期対応を心がけ、問題解決に取り組み、自然環境、生活環境の保全に努めた。

- ・河川水質 14河川
- ・工場排水 テクノポート総合排水口1ヶ所
公害防止協定締結事業所26施設
- ・ダイオキシン調査 2ヶ所

大気環境の保全

●野焼きについての広報、チラシの回覧等を通じて、啓発活動を実施。野焼き行為の現場に出向き、行為者に対して注意喚起を行ったり、農業分野での野焼きについては、病虫害対策と周辺住民への配慮とのバランスを取りながら指導を行った。



②漂着ごみ・不法投棄対策を推進する (P49)

河川・海岸の漂着ごみ対策

■河川クリーンキャンペーン
毎年、3月に実施しており、年々参加地区は増加傾向にあり、市民の河川ごみに対する意識の向上が図られ、河川、海岸ごみの削減に繋がっている。

	R2	R3	R4	R5	R6
参加地区	77	85	94	73	113
燃えるゴミ袋	1,374	989	1,428	730	743
燃えないゴミ袋	544	454	494	313	254
実施率	17.5	19.3	21.4	16.6	25.7

■九頭竜川河口部清掃活動

毎年、11月に企業、団体、市民、行政が参加し、官民連携で清掃活動に取り組んでおり、河口部の景観が保たれている。



開始式の様子

	R2	R3	R4	R5	R6
参加企業・団体数	14	13	20	22	14
燃えるゴミ袋	200	250	280	270	160
燃えないゴミ袋	50	50	50	30	30

マイクロプラスチック問題対策

●農業分野におけるマイクロプラスチック対策をJAや農業者と連携して廃棄処分するよう啓発を行った。

不法投棄の防止

●年3回、県と連携し、パトロール重点地区となっている三国町浜地海岸沿い道路や丸岡町国道364号近上トンネルから上久米田大谷川沿いなどにおいてパトロールを実施

★主な不法投棄物 タイヤ、丸太（写真）、コンクリートブロックなど

●住民との連携により不法投棄をされやすい現場のパトロールを実施しながら区の要望に応じて不法投棄防止看板の提供を行った。



パトロール中の不法投棄現場

坂井市環境基本計画における主な施策の進捗状況

【行動方針2 豊かな自然と歴史資源の保全・育成】

④豊かな自然と共生する (P51)

病虫害防除、効率的な松くい虫対策の実施

●潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫から守るため、薬剤散布や樹幹注入などの実施により被害木の拡大を抑え、松林の保全対策を図った。

★実施場所：三国町安島他

	R2	R3	R4	R5	R6
地上散布 (ha)	20	20	20	20	20
樹幹注入(本)	1,720	3,614	3,108	2,057	2,114

活気ある森づくりの推進

●松くい虫の被害により減少した松林などに抵抗性クロマツの植栽を行ったり、松林内の下草刈りなどを実施して健全な松林の維持再生を図った。

★実施場所：三国町安島他

	R2	R3	R4	R5	R6
植栽本数	308	328	389	360	290
下草刈り (ha)	1,200	18,000	31,640	35,730	37,900

森林や里山の保全・活用の推進

●森林や林業に対する理解の促進や地域の木材の利用促進を図るため木育イベントを実施し、森林に対する理解促進を図ることができた。

★内容：木こりの学校 年4回開催 場所：たけくらべ広場 参加人数：155名

外来種対策の推進

●環境団体と連携し、アメリカザリガニやブラックバスといった外来種の駆除活動や啓発を実施し、自然環境の維持に努めた。

★市に生息する主な外来生物 アメリカザリガニ（三国町陣ヶ岡天池）

駆除数 R6：10/26 ザリガニ釣り 418個体 11/8～9天池 約270個体

ブラックバス、アカミミガメ（三国町鴨池）

⑤自然に培われた歴史資源を後世に残す (P52)

良好な街並み景観の創出・維持

●特定景観計画区域（丸岡城周辺および三国湊地区）において住宅修景補助を実施。また、歴史的風致維持向上計画を策定し計画に基づき、三国湊、東尋坊、丸岡城などの歴史文化を生かしたまちづくり事業に取り組んだ。

★特定景観計画区域補助実績：三国地区：6件 丸岡地区：1件



⑥森里川海のつながりを支え、活用する (P53)

世代間・都市間のふれあい体験・交流活動

●エコルフェス（R5）にて海ゴミに関するブースを展示。団体活動と連携して清掃活動に取り組んだことをパネルにして理解促進に努めた。

フェスに展示したパネル（抜粋）



●連携都市である品川区との交流ツアーにおいて、竹田地区での木こり体験をメニュー化し、自然環境を生かした体験型観光を実施。都会では味わえない里山海、坂井市がもつ自然を品川の子供たちに体験してもらい、体験活動を通し、友好交流を図った。

坂井市環境基本計画における主な施策の進捗状況

【行動方針3 循環型社会の形成】

⑦ものの大切さ、限りある資源を意識した社会をつくる（P54）

3Rの推進

●子供たちに再生可能エネルギーへの理解を深めてもらうため、「夏休み親子リサイクル施設ツアー」を実施
★内容：風力発電所・太陽光発電所見学
（坂井市三国町米納津）
R6市内親子44名参加



●家庭におけるプラスチックごみを減らす取り組みを推進するため、市内小学4年生を対象に「我が家のプラごみ宣言」を実施

	R2	R3	R4	R5	R6
参加人数	825	815	782	831	736
宣言提出児童数	744	723	730	707	666
提出率	90.2	88.7	93.4	85.1	90.5

「我が家のプラごみゼロ宣言」をやってみよう

市内の小学4年生の児童とその家族を対象に、プラスチックごみ削減に向けた取り組みを家族で考えて取り組んでもらいました。子供たちが宣言をやってみて思ったことを一挙ご紹介。

宣言書提出児童数 666名（実施率 90.49%）

【留意点】
・使い回しはマイバッグを持っていきます
・マイボトルを持参します
・プラスチックごみの削減に努めます
・シャンプーなどは詰め替え用を使います
・資源リサイクル（ゴミの分別）に努めます

●プラスチックごみのリサイクルを推進するため、プラごみの一括回収をR6.4から開始し、プラごみ削減に向けた取り組みが効果を上げている。

一括回収可能になった製品プラ

	R5	R6
容器包装プラ	275,959kg	284,821kg
製品プラ		28,584kg
合計	275,959kg	313,045kg

●スーパーなどの民間事業者と連携し、市内8ヶ所に小型家電回収ボックスを設置し、リサイクルの推進を図った。
★主な小型家電 携帯電話、ゲーム機、電気延長コード、カメラなど

食品ロス削減の推進

●食品ロス削減の推進に向けた「フードドライブに関する協定」を締結し、市内8ヶ所にフードドライブポストを設置した。「もったいない」を「ありがとう」にをスローガンに、まだ食べれる食品を廃棄せず必要とする人に届けることで、脱炭素社会の実現と生活困窮者の支援へつなげた。

★協定締結先：11団体（スーパーなど食品を扱う3事業者、子ども食堂運営やひとり親支援6団体、市社会福祉協議会）



近隣市町との連携やゴミ収集業者間の連携の推進

●資源ごみのリサイクルを促進するために、スーパーなど民間事業者による古紙類やペットボトル、トレイ等資源の店頭回収についてHP等で一覧掲載。スーパーによっては、ペットボトルの回収機の導入に伴う収益金を市に対し、寄附を行い、その収益金は、環境基本計画推進事業に活用している。

★店頭回収店：市内13店舗

バイオマスの利活用の推進

●木質バイオマスは、地域資源の活用として利用できるエネルギー源となり、様々な可能性について坂井森林組合と意見交換を実施した。間伐材を有効活用するために調査から電力となるチップの供給まで一連の流れを確立しつつ、たけくらべ温泉に木質バイオマスボイラーを導入した。



坂井市環境基本計画における主な施策の進捗状況

【行動方針4 地球温暖化対策の推進】

⑨地球温暖化を防止するために行動する (P56)

カーセーブ（公共交通機関や徒歩・自転車の利用）の推進(公共交通対策課)

●毎週金曜日をカーセーブデーとし、職員に周知を図り、積極的な参加を促し、車から排出されるCO2の削減に努めた。

COOL CHOICEの推進

●家庭においての再生エネルギーの導入を目的とする住宅の太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助の実施し、CO2排出の削減を図った。

★補助実績：R6 20件

●ライトダウンキャンペーンの実施

家庭の節電のため夜間の照明を消すことを広報、HPで啓発。市内公共施設においても実施し、地球温暖化防止に取り組んだ。

★実施施設：6施設（ユリウム春江、丸岡城など）

ユリウム春江の屋根の
照明を消灯

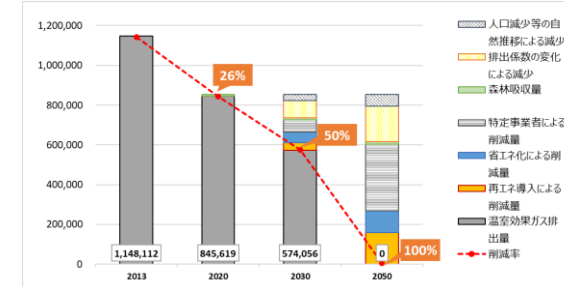


2050年までの温室効果ガス総排出量実質ゼロを目指した取り組みの推進

●令和6年3月に2050年までのゼロカーボン達成に向けた「坂井市脱炭素ロードマップ」を策定した。また、オール坂井で脱炭素に取り組むために、テクノポート福井を中心とした19事業所と連携協定を結び、エネルギーの地産地消、温室効果ガス排出量の削減を図っていく。



19事業所との連携協定



脱炭素ロードマップより抜粋

●ゼロカーボン市民ワークショップ及び環境シンポジウムを開催し、ゼロカーボンに向けた市民自らの興味、関心、意欲といった内発的動機を促進した。

★ゼロカーボン市民ワークショップ（7月～8月） 参加人数：74名

★環境シンポジウム（11月） 参加人数：50名



環境シンポジウム



市民WS

地球温暖化防止に向けた総合的な計画策定の検討

●再エネ導入並びにその他の脱炭素に資する目標の作成や地域脱炭素を実現するために必要な政策および重要な施策に関する構想等を取りまとめ、令和7年度において地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定する予定。

坂井市環境基本計画における主な施策の進捗状況

【行動方針5 環境と共生する人づくり】

⑪環境の大切さに気づき、環境をよくするために、自ら考え行動する（P58）

エコイベントの参加・推進

●家庭内でのエコへの理解を深めるために「こどもエコひろば」を開催。手回し発電機や省エネ教室など各種体験を通して、楽しみながらできるエコへの理解促進に努めた。

★実施場所：いねす 参加人数 760名 協力団体：10事業者



総合的、計画的な環境教育・環境学習の推進

●市内小学6年生を対象に「坂井市ストップ温暖化対策授業」を実施し、映像資料や地球温暖化によって引き起こされる気候変動や生態系への影響について説明し、ワークショップを通して、節電、節水、リサイクルの大切さを学んだ。また、家庭においてのチャレンジシートを活用し、保護者との連携を図った。

年度	項目	校数	人数
R3	教材作成		
R4	三国地区小学校	5校	171人
R5	丸岡地区小学校	6校	246人
R6	春江地区小学校	4校	218人
R7	坂井地区小学校	4校	121人
	合計	19校	756人



環境白書の作成

●環境や廃棄物の現状と、環境の保全に関する施策の実施状況についてとりまとめてHPで公開した。

国、県の派遣制度などの有効活用

●地域における地球温暖化に対する知識の普及ならびに地球温暖化対策の推進を図ること目的とした「アースサポーター」として活動したい市民を県に推薦した。

★R6末現在アースサポーター：4名

寄附市民参画条例の推進と寄附の活用

●令和3年度から5か年計画で小学校での特別授業を設定し、地球温暖化対策授業を実施。小学6年生を対象にストップ温暖化社会の形成を目指し、意識改革を促すなど家庭での取り組みを通してCO2削減につながる家族参加型の学習プログラムを実施している。

寄附から生まれた教材
チャレンジシート、副読本



寄附市民参画制度実施事業一覧		
R1～R5（第1期）	動物保護・愛護事業	飼い主のいない猫の不妊支援事業
R6～R10（第2期）		飼い主のいない猫の健康診断支援事業
R3～R7	環境教育推進	未来の世代へ「ストップ」温暖化実践型事業～気候クライシスへのチャレンジ～
R6～R10	環境教育推進	第2ステージ！「ストップ地球温暖化～機構クライシスへのチャレンジ～」